

トラスト通信

令和7年第3号

田中小6年生運動会で 海野宿開宿400年祝う組体操!!

田中小学校PTA 本海野支部長依田さんから運動会で6年生が組体操「海野宿からはばたけ未来へ」と海野宿開宿400年祝う組体操を発表したことをお聞きました。既に運動会が終わっているので早速TV放送で視聴しました。東と西から4列で青や緑のフラッグを持ち入場する一人ひとりの子どもたちの引き締まった表情ときびきびした動きが難しい課題に取り組み、海野宿開宿400年を祝う覇気を感じ、感銘しました。

担任の若山先生からお聞きすると、先生が子どもたちへ海野宿開宿400年を祝う組体操をしようと提案すると、子どもたちからは裸足でやるから足や膝が痛いというような消極的な反応だったとのこと。しかし、話し合いをしていくとフラッグは青と緑だけでなく、海野宿のまち並や東御市特産のくすみ等を表現する、オレンジのフラッグが欲しいという積極的な動きに変化してきたとのこと。

海野宿の東柵形・西柵形を想定した東・西入場口から入場した子どもたちのかけ声と、フラッグを振る風を切る音が組体操への子どもたちの思いを伝えてくれました。当日、6月なのにすごい暑さで裸足で行うのは危険かと判断し、靴を履くように提案したが子どもたちは僕たちはできる（裸足でやること）と主張したとのこと。最初、組体操への取り組みが消極的であったが、積極的に自分たちの考えを主張し、海野宿開宿400年を祝う組体操を創り上げた子どもたちの成長と先生方の指導に海野宿に関わる者として、これからの海野宿を考え大きな夢を抱くことができました。なお、昨年から東御市のPRに取り組んできて、今年は海野宿に取り組み、現在動画を作成しているとのこと。近々 その作品も視聴できる機会もあると思います。

我々もこのような学びをした子どもたちと一緒に、海野宿の未来へ取り組みたいと考えたとともにこんな希望を持たせてくれた田中小学校と子どもたちに感謝です！

「海野宿からはばたけ未来へ」フィナーレの写真（写真提供：田中小学校）



海野宿開宿400年記念事業実行委員会では、10月には日本全国の伝統的建造物群保存地区を訪れ調査した長野県立大学教授 田村 秀 先生の講演会、また、別の日に海野宿のよいところ発見まちあるきワークショップを行います。詳細は、後日お知らせします。

多くの皆さんにご参加いただいて、田中小の子どもたちと同じように過去や現在の また未来の海野宿のことを心置きなく語り合える場になればと考えます。ふるってご参加をお願いします。

■海野宿開宿400年実行委員会報告（4月開催：6回目）

開宿 400年

本年11月2日開催の「ふれあい祭り」と同時に開宿400年記念事業イベントを行います。その前日白鳥神社境内で行う予定の前夜祭の内容について議論しました。イベント内容は①ワイン販売②ジャズ生演奏③和太鼓生演奏です。詳細はイベント企画担当部会を中心に今後詰めていく予定です。資料館展示替えについても方向性がおおよそ決まったので今後は担当部会で詰めて行きます。

長野県元気づくり支援金事業への申請も採択されました。数ある申請事業のうち「地域住民および市民向けの講演会」は10月5日に長野県立大の田村教授による講演会を、「観光地域づくりに向けたワークショップ」は10月19日に、いずれもふれあいセンターで開催しますので多くの住民の皆様の参加を期待しています。また地域の一体感の創出や観光地域経済活性化を目指した開宿400年記念ノベルティーの製作や記念グッズについても現在検討中です。



*全国伝建地区の総会が京都で開催され参加しました



全国の伝建地区の集まりである伝建協の総会が京都で開催されました。今年は伝建の制度ができて50周年の記念の年ということで盛大に開催され、全国の重伝建地区を有する市町村の首長さんや担当者が集結しました。海野宿からは、関理保存会長と橋本副会長と東御市観光課の職員が参加しました。

一日目は「伝建地区の50年 これまでとこれから」と題して、京都大学・奈良女子大学名誉教授の増井正哉氏の記念講演を聞きました。続いて首長サミット「50年の成果と未来像」という事でパネルディスカッションが行われました。これは、伝建の制度が始まった年に選定された5市町村（7地区）の首長さんのサミットで、半世紀に渡って伝建地区の先頭を常に走ってきた名だたる地区、これが現在129地区ある伝建地区のはじまりです。

初日の情報交換会におきまして、妻籠宿・大内宿・川越宿・熊川宿の行政や地元関係者と話し合う機会に恵まれました。川越宿の行政の方からは、商業地化してしまって通りの商業者は商売を優先してしまって、住民はそっちのけにされてしまったとの話を聞くことが出来ました。また妻籠宿の行政の方からは、商売を新たにされる方は、どのような形でどんな商売されるか申請制度があり、地元の協議会で妻籠宿に適しているか審査があり、適さない商売や看板は受け入れないと聞きました。

また重伝建制定50年のシンポジウムでのオープニングにおいて、俳優の松山ケンイチさんと歌舞伎俳優の坂東彦三郎さんからお祝いのビデオメッセージがあり、2人のメッセージに「海野宿の景観と風情が素晴らしい」との話が出てきて、驚きと同時に重伝建での風情の大切さを痛感しました。

●開宿して400年を迎えた海野宿、これから100年先にも伝えられるよう景観や風情を守っていきましょう。

*海野宿観光ガイドについて

ガイドスタッフ募集中！

●ガイド実績紹介

今年は1月から毎月ガイドの依頼が入り、順調にガイドを行っています。少しずつではありますが、外国からのお客様も増えてきたように思います。

先月から待望の新人ガイドが2名応募あり、座学・実地研修を行って新たにガイドスタッフとして加わりました。今後のガイド増加に 대응できると期待しています。またガイドの勉強会も行っています。



新村明子



丸田健悟

●まだまだガイドスタッフが不足しています！

ご希望の方はガイド研修を随時行います。どうぞトラストまでご連絡ください。

*トラスト会員を募集しています

随 時 募 集 中 ！

NPO法人海野宿トラストは会員の皆様の会費で運営されています。
トラストの趣旨に賛同され、活動を支援していただける皆様の参加をお願い申し上げます。

・会 費		正会員	入会金	3,000円	年会費	6,000円
賛助会員年間	個人	1口	3,000円（入会金なし）			
	事業者	1口	6,000円	//		
	団体	1口	30,000円	//		

・会員申し込み先 海野宿トラスト事務所 0268-55-3694（海野宿資料館内）

Email : info@unnojuku-trust.com

ホームページ 「海野宿トラスト」で検索してください。